

◇ 新キヤラ登場 ◇

鹿角市先人顕彰館では「鹿角の先人たちを知ってもらおう」という思いから、子ども向けにミニ絵本を作っています。一枚の紙から作るもので大人も楽しめます。一枚

現在までを第一弾とし、15人を取上げました。その表紙は、内藤湖南をモチーフにした「こなん君」を使っています。次号からは、和井内貞行をモチーフにした「さだゆき君」を使った表紙に変わりますよ♪

☆次号の前に「特別編その1」も発行します。ぜひ、手に取ってみてください。

～ ホール展示のお知らせ ～

○藤手芸「安藤登喜子」錦木教室の作品展は、テーマを「秋」に変えて、作品の入れ替えをしました。

○五月から全6回行った「おとなの書道教室」。受講者の方々から作品をお借りして十一月中旬頃より、色紙展示を行います。



これからも
ヨロシクね♪

バトンタッチ♪



こなんくんのつぶやき

「ハロウィン」の話

今や日本でもクリスマスと同様に浸透してきたハロウィン。発祥は、二千年以上も前、古代ケルト人が行っていた祭礼が起源だといわれています。

子どもたちが家々をまわって「トリックオアトリート」といってお菓子をねだりする風習があります。が、実は日本にも似たような行事があるんです。昔、中秋の名月の日に「お月見どろぼう」という、畑からお芋をいただくといつもの。十五夜の晩子どもだけ許されたそうです。

今は、一部地

方だけに残っています

るようですので、満月の夜でも真似はしないでくださいね。

